

1 食肉の流通

(1) と畜場の状況

ア 平成21年の全国のと畜場数は199場で、前年と同数であった。

と畜場の種類別と畜場数及び構成割合をみると、食肉卸売市場併設と畜場が27場で13.6%、食肉センターが76場で38.2%、その他が96場で48.2%となっている。

(表1)

表1 種類別と畜場数の推移(全国)

単位 { と畜場数：場
比率：%

区 分		計	食肉卸売市場 併設と畜場	食 肉 セ ン タ ー	そ の 他
実 数	平.19	203	27	74	102
	20	199	27	73	99
	21	199	27	76	96
構 成 比	平.19	100.0	13.3	36.5	50.2
	20	100.0	13.6	36.7	49.7
	21	100.0	13.6	38.2	48.2

イ 豚及び成牛のと畜頭数規模別と畜場数及びと畜頭数をみると、豚を処理したと畜場数は172場、と畜頭数は1,696万6千頭であった。これをと畜頭数規模別にみると、10万頭以上のと畜場数は69場、と畜頭数は1,391万1千頭でそれぞれ40.1%、82.0%を占めている。

また、成牛を処理したと畜場数は151場、と畜頭数は121万7千頭であった。これをと畜頭数規模別にみると、1万頭以上のと畜場数は45場、と畜頭数は82万6千頭でそれぞれ29.8%、67.9%を占めている。(表2)

表2 と畜頭数規模別と畜場数及びと畜頭数の推移(全国)

単位 { と畜場数：場
と畜頭数：千頭
比率：%

区 分			豚					成 牛				
			計	2万頭 未 満	2～5	5～10	10万頭 以 上	計	1,000 頭未 満	1,000～ 5,000	5,000～ 1万	1万頭 以 上
と 畜 場 数	実 数	平.19	173	50	28	30	65	154	32	36	44	42
		20	170	46	31	27	66	150	29	36	40	45
		21	172	49	29	25	69	151	31	34	41	45
と 畜 頭 数	構 成 比	平.19	100.0	28.9	16.2	17.3	37.6	100.0	20.8	23.4	28.6	27.3
		20	100.0	27.1	18.2	15.9	38.8	100.0	19.3	24.0	26.7	30.0
		21	100.0	28.5	16.9	14.5	40.1	100.0	20.5	22.5	27.2	29.8
と 畜 頭 数	実 数	平.19	16 268	228	1 000	2 229	12 811	1 199	9	97	315	778
		20	16 192	189	1 087	2 000	12 916	1 227	8	103	288	828
		21	16 966	190	1 021	1 843	13 911	1 217	9	95	288	826
と 畜 頭 数	構 成 比	平.19	100.0	1.4	6.1	13.7	78.7	100.0	0.7	8.1	26.2	64.9
		20	100.0	1.2	6.7	12.4	79.8	100.0	0.6	8.4	23.5	67.5
		21	100.0	1.1	6.0	10.9	82.0	100.0	0.7	7.8	23.7	67.9

注：1 当該畜種の入場のあったと畜場のみの集計値である。

2 構成比は、原数（Ⅱ統計表における表章単位）より算出している（以下各表において同じ。）。

3 割合の計が100%とならないのは、四捨五入によるものである（以下各表において同じ。）。

(2) 肉豚の概要

ア 豚の出荷状況

(ア) 豚の出荷（と畜）頭数は1,696万6千頭で、前年に比べ4.8%増加した。（図1、表3）

図1 豚出荷（と畜）頭数の推移（全国）

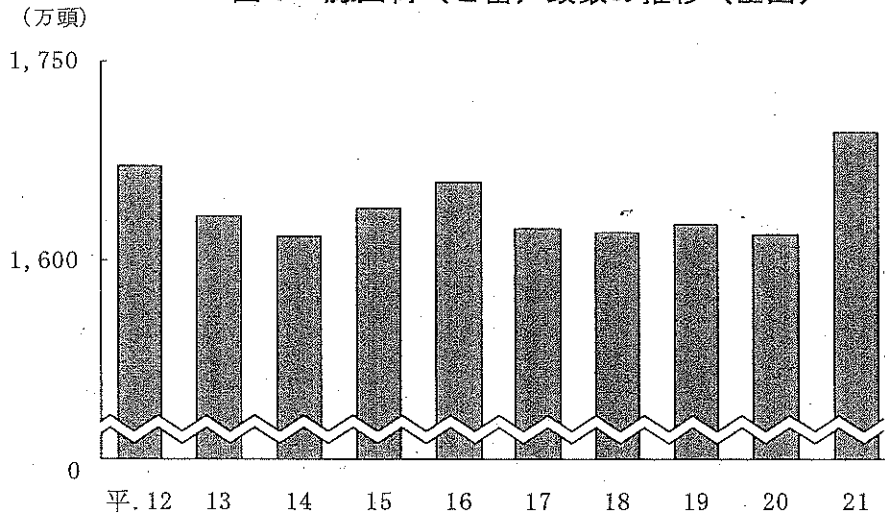


表3 豚出荷（と畜）頭数の推移（全国）

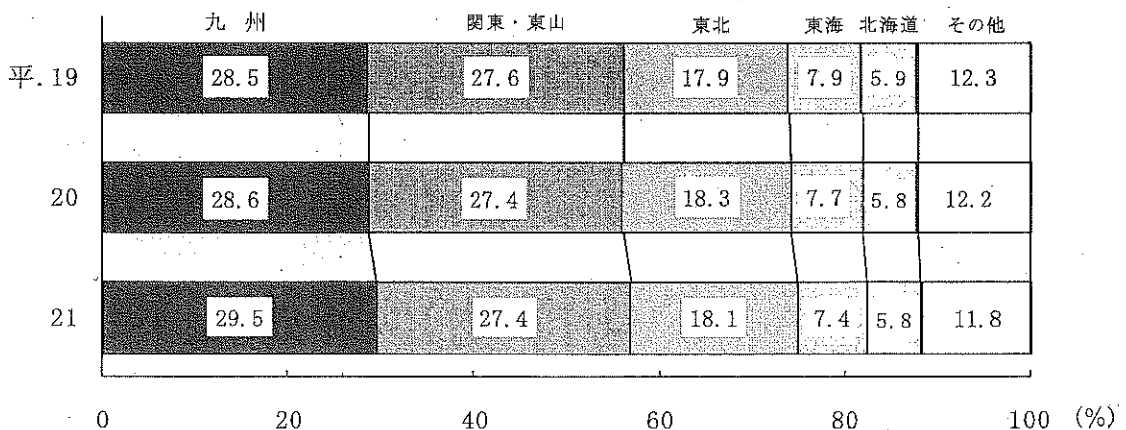
単位 { 実数：千頭
比率：%

年次	平.12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
実数	16 717	16 329	16 183	16 396	16 596	16 243	16 210	16 268	16 192	16 966
対前年比	99.1	97.7	99.1	101.3	101.2	97.9	99.8	100.4	99.5	104.8

注：対前年比は、原数（Ⅱ統計表における表章単位）より算出している（以下各表において同じ。）。

(イ) 豚の出荷頭数の全国農業地域別割合をみると、鹿児島、宮崎を中心とする九州が29.5%で前年に比べ0.9ポイント上昇し、茨城、群馬を中心とする関東・東山が27.4%で前年並み、青森、岩手を中心とする東北が18.1%で前年に比べ0.2ポイント低下した。この3地域を合わせた割合は、全国の75.0%を占めている。（図2）

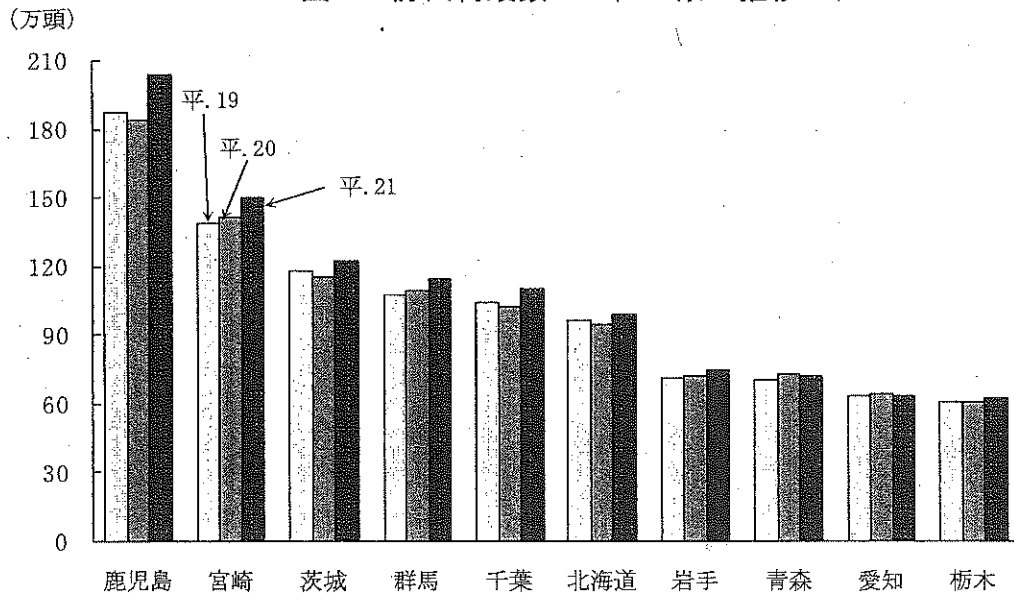
図2 豚出荷頭数の全国農業地域別割合の推移



注：割合の計が100%とならないのは、四捨五入によるものである（以下各図において同じ。）。

- (ウ) 豚の上位10県の出荷頭数をみると、前年に比べ青森、愛知は減少したものの、鹿児島、宮崎、茨城、群馬、千葉、北海道、岩手、栃木は増加した。
また、この上位10県で全国出荷頭数の63.2%を占めている。(図3)

図3 豚出荷頭数の上位10県の推移



イ 食肉卸売市場における豚肉の状況

(7) 取引状況

食肉卸売市場(中央卸売市場10、指定市場18)における豚肉の取引成立頭数は221万頭で、前年に比べ3.2%増加した。市場別では、中央卸売市場が95万頭、指定市場が126万頭で前年に比べそれぞれ5.2%、1.8%増加した。

全国のと畜頭数に占める食肉卸売市場取引成立頭数の割合は13.0%で、前年に比べ0.2ポイント低下した。(表4・5)

表4 食肉卸売市場の豚肉の取引成立頭数の推移

区分		計	中央卸売市場	指定市場
実数	平. 19	2 183	918	1 265
	20	2 142	903	1 238
	21	2 210	950	1 260
対前年比	平. 19	101.9	102.9	101.1
	20	98.1	98.4	97.9
	21	103.2	105.2	101.8

単位 { 頭数：千頭
比率：%

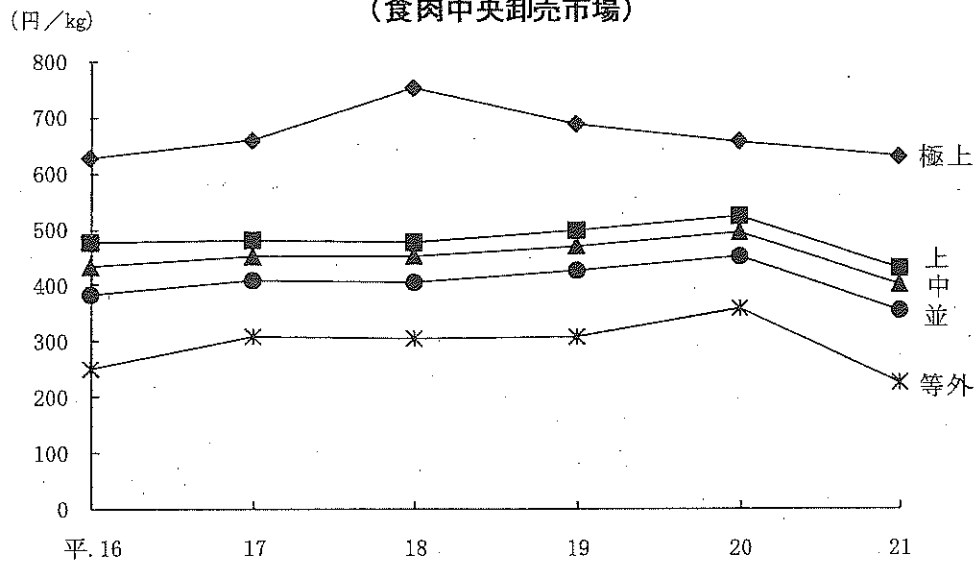
表5 豚肉の全国と畜頭数に占める食肉卸売市場取引成立頭数の推移

年次	全国と畜頭数	単位	
		食肉卸売市場	割合
平. 19	16 268	2 183	13.4
20	16 192	2 142	13.2
21	16 966	2 210	13.0

(イ) 卸売価格の動向（1kg当たり平均価格）

食肉中央卸売市場における豚肉の規格別卸売価格は、「極上」が628円、「上」が429円、「中」が399円、「並」が355円、「等外」が224円で、「極上」、「上」、「中」、「並」及び「等外」全て前年に比べそれぞれ4.3%、17.8%、19.1%、20.9%、37.1%低下した。（図4）

図4 豚肉の規格別卸売価格の推移
（食肉中央卸売市場）



(3) 肉牛の概要

ア 成牛の出荷状況

(ア) 成牛の出荷(と畜)頭数は121万7千頭で、前年に比べ0.8%減少した。

このうち、和牛は49万5千頭で5.9%増加したが、乳牛は70万2千頭、その他の牛は2万頭で、前年に比べそれぞれ4.8%、11.1%減少した。

成牛の種類別出荷頭数割合をみると、和牛が40.7%で前年に比べ2.6ポイント上昇し、乳牛が57.7%で前年に比べ2.4ポイント低下した。(図5、表6)

図5 成牛の種類別出荷(と畜)頭数の推移(全国)

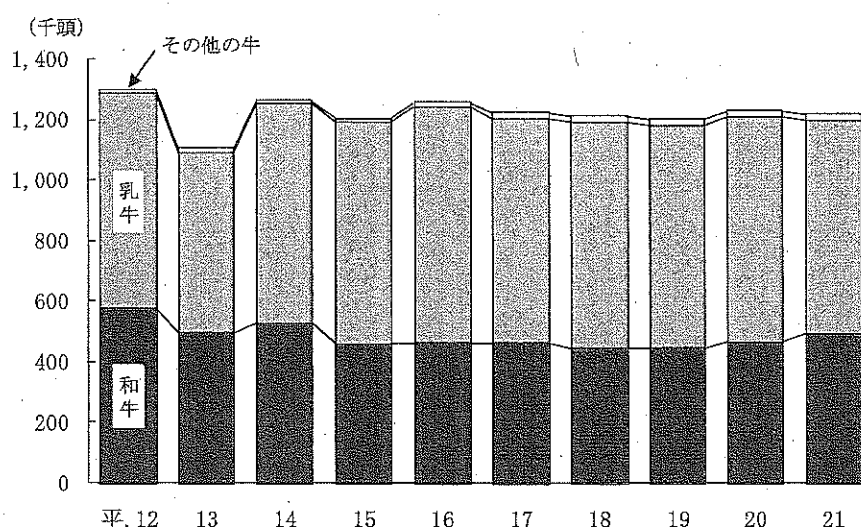


表6 成牛の種類別出荷(と畜)頭数の推移(全国)

単位 { 実数：千頭
比率：%

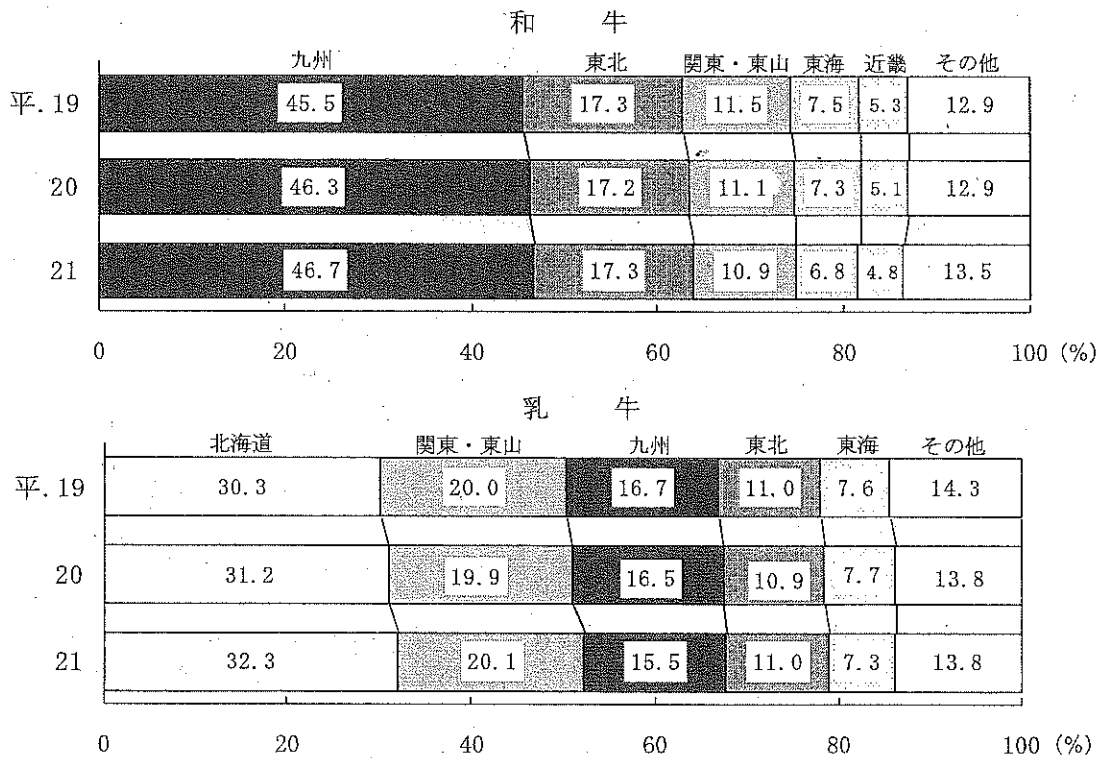
年次		平.12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
実数	成牛計	1 297	1 103	1 263	1 202	1 256	1 221	1 209	1 199	1 227	1 217
	和牛	577	496	527	461	464	463	449	448	467	495
	乳牛	705	595	722	726	773	739	741	729	737	702
	その他の牛	15	13	14	14	18	19	19	22	22	20
対前年比	成牛計	98.1	85.1	114.4	95.2	104.5	97.2	99.0	99.2	102.3	99.2
	和牛	98.0	85.9	106.3	87.5	100.6	99.7	97.1	99.6	104.3	105.9
	乳牛	99.6	84.3	121.4	100.6	106.5	95.6	100.2	98.5	101.1	95.2
	その他の牛	59.3	86.2	106.1	104.2	129.1	102.5	102.4	114.6	101.0	88.9
構成比	成牛計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	和牛	44.5	44.9	41.7	38.4	37.0	37.9	37.2	37.3	38.1	40.7
	乳牛	54.4	53.9	57.2	60.4	61.6	60.5	61.2	60.8	60.1	57.7
	その他の牛	1.2	1.2	1.1	1.2	1.5	1.5	1.6	1.8	1.8	1.6

(イ) 成牛の種類別出荷頭数の全国農業地域別割合をみると、和牛は、鹿児島、宮崎を中心とする九州が46.7%、宮城、岩手を中心とする東北が17.3%で前年に比べそれぞれ0.4ポイント、0.1ポイント上昇し、栃木、茨城を中心とする関東・東山が10.9%で前年に比べ0.2ポイント低下した。この3地域を合わせた割合は

全国の74.9%を占めている。

また、乳牛は、北海道が32.3%、栃木、群馬を中心とする関東・東山が20.1%で前年に比べそれぞれ1.1ポイント、0.2ポイント上昇し、熊本、宮崎を中心とする九州が15.5%で前年に比べ1.0ポイント低下した。この3地域を合わせた割合は全国の67.9%を占めている。(図6)

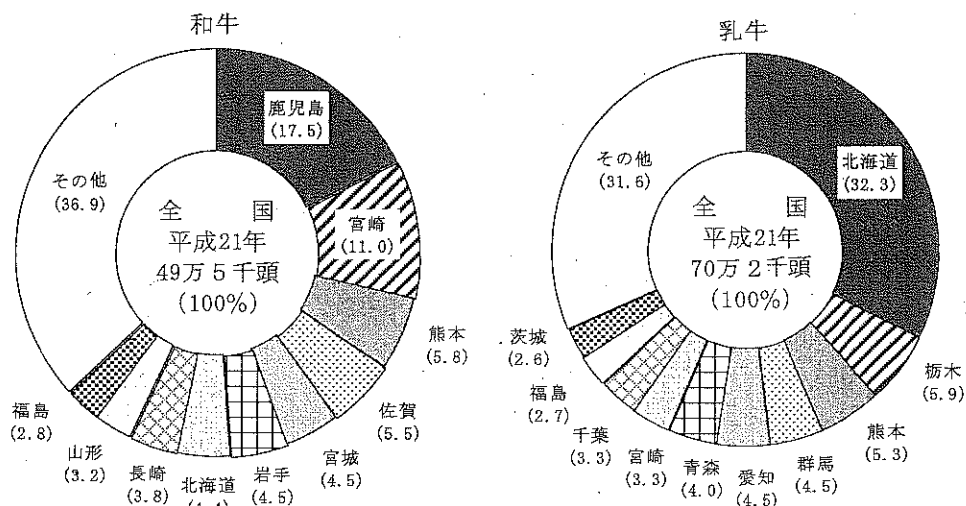
図6 成牛の種類別出荷頭数の全国農業地域別割合



(ウ) 成牛の種類別出荷頭数の都道府県別割合をみると、和牛は、鹿児島が17.5%と最も高く、次いで、宮崎が11.0%、熊本が5.8%となっている。

また、乳牛は、北海道が32.3%と最も高く、次いで、栃木が5.9%、熊本が5.3%となっている。(図7)

図7 成牛の種類別出荷頭数の都道府県別割合



イ 食肉卸売市場における牛肉の状況

(7) 取引状況

食肉卸売市場（中央卸売市場10、指定市場18）における成牛の取引成立頭数は42万3千頭で、前年に比べ0.5%減少した。市場別では、中央卸売市場は31万1千頭で前年に比べ1.1%減少したが、指定市場は11万1千頭で前年に比べ1.5%増加した。

畜種別では、和牛は19万7千頭で前年に比べ3.5%増加したが、乳牛は22万1千頭で前年に比べ3.1%減少した。

全国のと畜頭数に占める食肉卸売市場取引成立頭数の割合は34.7%で、前年に比べ0.1ポイント上昇した。（表7・8）

表7 食肉卸売市場の成牛の取引成立頭数の推移

区 分		計	市 場 別		畜 種 別		
			中央卸売市場	指定市場	和牛	乳牛	その他の牛
実 数	平. 19	419	312	108	188	226	5
	20	425	315	110	191	229	5
	21	423	311	111	197	221	4
対 前 年 比	平. 19	100.6	101.3	98.5	99.4	101.2	119.4
	20	101.3	101.1	101.9	101.3	101.2	104.6
	21	99.5	98.9	101.5	103.5	96.9	72.4

単位 { 頭数：千頭
比率：%

表8 成牛の全国と畜頭数に占める食肉卸売市場取引成立頭数の推移

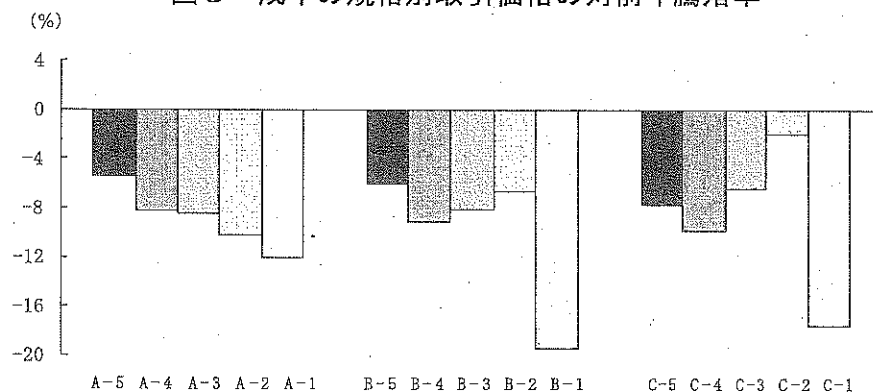
年 次	全国と畜頭数	割 合	
		食肉卸売市場	
平. 19	1 199	419	35.0
20	1 227	425	34.6
21	1 217	423	34.7

単位 { 頭数：千頭
割合：%

(イ) 卸売価格の動向

食肉卸売市場における牛肉の規格別卸売価格を対前年騰落率で見ると、全ての規格で前年を下回った。（図8）

図8 成牛の規格別取引価格の対前年騰落率



2 鶏卵の流通

(1) 鶏卵の生産量

平成21年の鶏卵生産量は250万8千tで、前年に比べ1.8%減少した。

これを都道府県別割合で見ると、茨城が7.4%と最も高く、次いで、千葉が7.3%、鹿児島が6.4%となっている。(図9、表9)

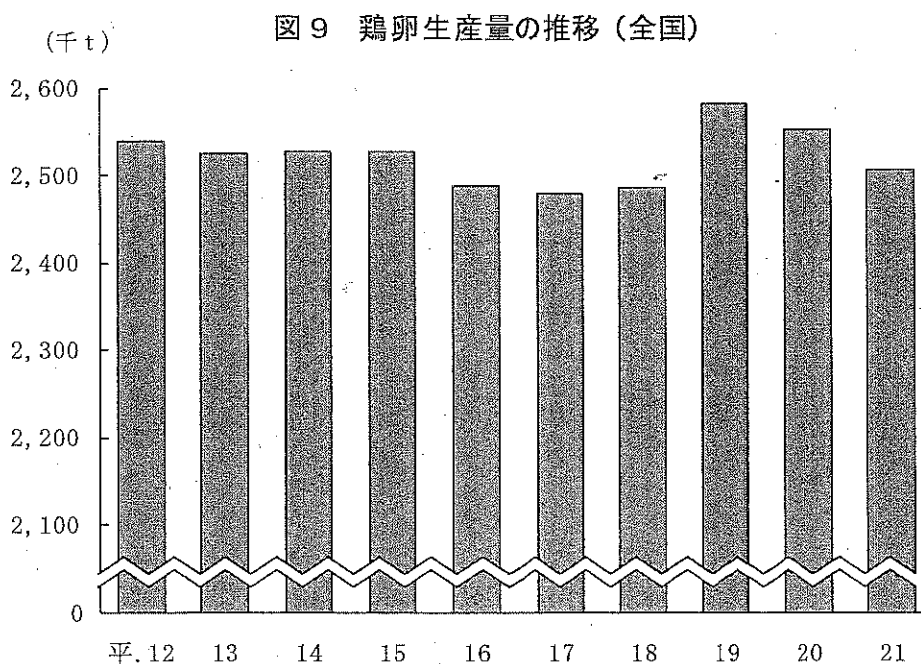


表9 鶏卵生産量(全国及び上位10都道府県)

単位 { 生産量:千t
比率:%

区 分	実 数			対 前 年 比			平.21 構成比
	平.19	20	21	平.19	20	21	
全 国	2 583	2 554	2 508	103.8	98.8	98.2	100.0
茨 城	182	187	186	149.4	102.8	99.6	7.4
千 葉	185	186	183	116.4	100.7	98.0	7.3
鹿 児 島	167	164	160	99.3	98.6	97.4	6.4
岡 山	114	118	124	105.4	103.6	105.2	5.0
広 島	116	118	119	100.4	101.3	101.0	4.7
愛 知	137	136	116	102.9	99.4	84.8	4.6
北 海 道	111	108	108	103.3	97.5	99.3	4.3
新 潟	100	98	98	103.7	98.4	99.7	3.9
青 森	90	88	88	100.7	97.3	100.7	3.5
兵 庫	81	81	82	102.0	100.2	101.6	3.3
そ の 他	1 301	1 269	1 244	99.3	97.5	98.1	49.6

(2) 鶏卵の出荷状況

鶏卵出荷量は、243万1千tで、前年に比べ1.8%減少した。

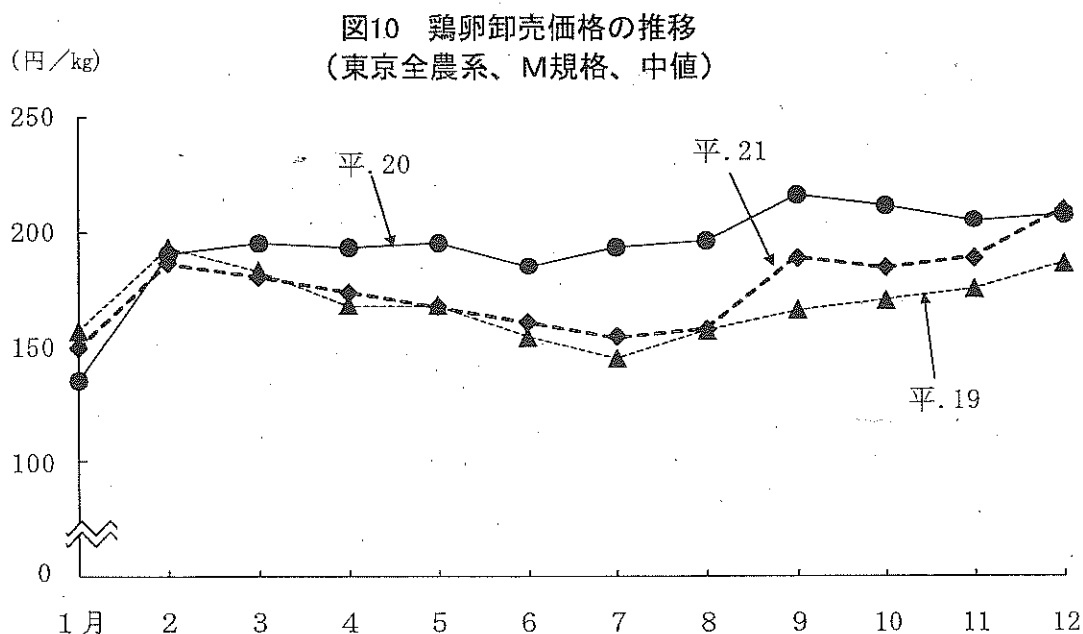
これを全国農業地域別割合で見ると、千葉、茨城を中心とする関東・東山が最も高く、出荷量の24.3%を占めている。次いで、鹿児島、福岡を中心とする九州が14.7%となっている。(表10)

表10 鶏卵の全国農業地域別出荷量

区 分	実 数			対 前 年 比			平.21 構成比
	平.19	20	21	平.19	20	21	
全 国	2 504	2 476	2 431	103.9	98.9	98.2	100.0
北 海 道	109	106	105	103.2	97.4	99.4	4.3
東 北	348	346	348	101.7	99.6	100.3	14.3
北 陸	148	145	142	103.0	97.9	98.0	5.8
関 東・東 山	608	602	592	114.3	99.0	98.2	24.3
東 海	343	335	307	101.1	97.6	91.6	12.6
近 畿	131	131	133	100.9	100.3	101.4	5.5
中 国	294	298	299	101.3	101.4	100.6	12.3
四 国	130	129	126	100.8	99.2	97.8	5.2
九 州	372	363	358	98.4	97.7	98.6	14.7
沖 縄	22	21	21	99.5	97.2	100.1	0.9

単位 { 出荷量：千t
比率：%

(参考) 卸売価格 (鶏卵市況情報)



3 食鳥の流通

(1) 食鳥の処理量

全国の処理羽数は肉用若鶏が6億3,469万2千羽、廃鶏が9,422万4千羽で前年に比べそれぞれ0.8%、1.2%増加したが、その他の肉用鶏が906万羽で前年に比べ5.4%減少した。

全国の処理重量は肉用若鶏が182万6,543 t、廃鶏が16万5,232 tで前年に比べそれぞれ2.2%、1.1%増加したが、その他の肉用鶏が2万8,468 tで前年に比べ3.4%減少した。(表11)

表11 全国の食鳥処理量(全国)(平成21年)

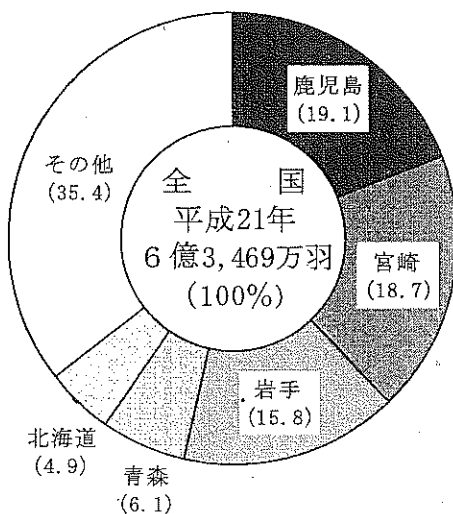
単位 { 処理羽数:千羽
処理重量: t
比率: %

区 分	処 理 量 (生 体)		対 前 年 比	
	羽 数	重 量	羽 数	重 量
肉 用 若 鶏	634 692	1 826 543	100.8	102.2
廃 鶏	94 224	165 232	101.2	101.1
その他の肉用鶏(地鶏等)	9 060	28 468	94.6	96.6

ア 肉用若鶏

都道府県別の出荷羽数割合をみると、鹿児島が19.1%と最も高く、次いで宮崎が18.7%、岩手が15.8%の順となっており、この3県で全国の53.6%を占めている。(図11)

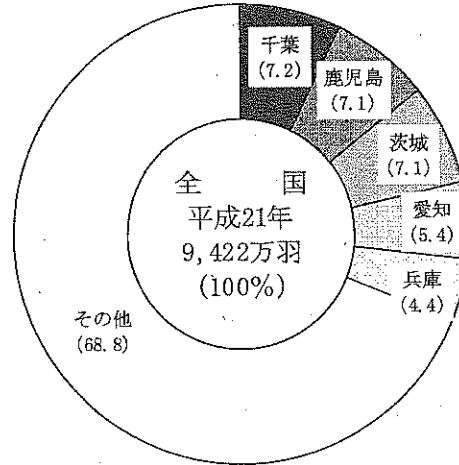
図11 肉用若鶏の都道府県別出荷羽数割合



イ 廃鶏

都道府県別の出荷羽数割合をみると、千葉が7.2%と最も高く、次いで鹿児島が7.1%、茨城が7.1%、愛知が5.4%、兵庫が4.4%の順となっており、この5県で全国の31.2%を占めている。(図12)

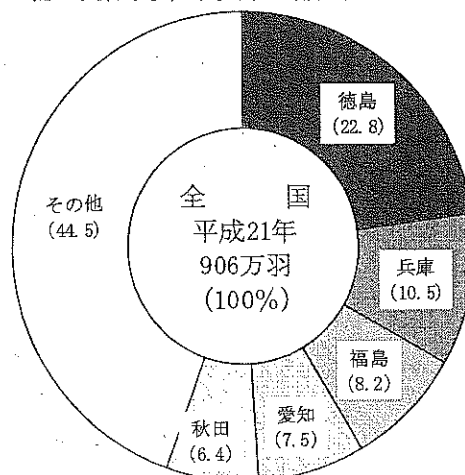
図12 廃鶏の都道府県別出荷羽数割合



ウ その他の肉用鶏 (地鶏等)

都道府県別の出荷羽数割合をみると、徳島が22.8%と最も高く、次いで兵庫が10.5%、福島が8.2%、愛知が7.5%、秋田が6.4%の順となっており、この5県で全国の55.4%を占めている。(図13)

図13 その他の肉用鶏(地鶏等)の都道府県別出荷羽数割合



(2) 食鳥処理場数

食鳥を処理した全国の食鳥処理場数は534場で、1処理場当たり処理重量は3,783 t となっている。(表12)

表12 食鳥処理場数及び1処理場当たり処理重量(全国)

区 分			1) 食鳥処理場	食鳥の種類			
				肉用若鶏	産 鶏	そ の 他 の 肉 用 鶏	2) その他の食鳥
処 理 場 数	実 数	平. 19	628	177	306	183	90
		20	611	177	298	187	87
		21	534	172	285	191	...
場 数	対 前 年 比	平. 19	99.2	95.7	97.8	105.2	95.7
		20	97.3	100.0	97.4	102.2	96.7
		21	...	97.2	95.6	102.1	...
1 処 理 場 当 たり 処 理 重 量	実 数	平. 19	3 108	9 912	540	144	63
		20	3 249	10 098	548	158	59
		21	3 783	10 619	580	149	...
場 数	対 前 年 比	平. 19	101.5	104.8	109.3	93.5	106.8
		20	104.5	101.9	101.5	109.7	93.7
		21	...	105.2	105.8	94.3	...

単位 { 処理場数:場
処理重量:t
比率:%

注: 1)は、食鳥を処理した実処理場数であり、1処理場で複数の処理を行っている場合があることから、食鳥の種類の数とは一致しない。
2)は、平成21年調査から調査対象外とした。

(参考) 卸売価格(食鳥市況情報)

図14 プロイラー卸売価格(東京、中値、もも肉)の推移

